

鹿水のSDGs



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



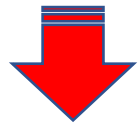
【取り組み1：IoT技術により、持続可能な産業基盤のお手伝い】

水処理設備（ボイラ、冷却水、排水、純水、水道etc.）は、事業活動を行う上で重要な設備です。近年、設備機器の発展により自動化が進んでいますが、もしもの時は人の手を必要とします。しかし、「人材不足・技術者不足・働き方改革」により、十分に設備を管理できずに異常の発見の遅れ等により設備を止めてしまうことがあります。

そこで、IoT技術とセンサー技術を活用した「**水処理装置遠隔監視・操作システム**」により、設備を安定に持続可能かつ、強靱な施設運用を提供しています。

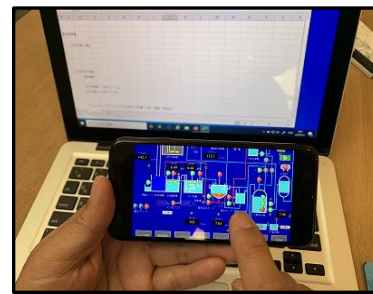
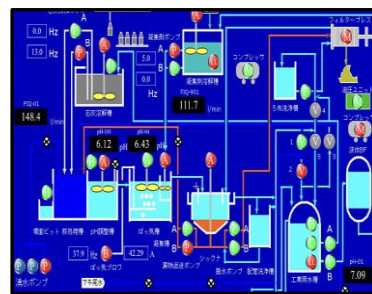
～こんなことで困っていませんか？～

- ・現場が離れていて設備点検・検針が大変！
- ・設備点検記録を紙に記録しているが、活用できていない！
- ・薬品タンクの残量を現場まで見に行くのが大変！
- ・夜間や休みの時の設備アラーム対応が大変！
- ・設備の状況を誰でも・どこでも見たい！



～解決出来ます！～

- ・現場の状況をカメラで監視します。
- ・現場のデータをパソコン・スマホで見れます。
- ・現場の制御盤をそのまま手元のパソコン・スマホに示します。
- ・パソコン・スマホから設備を操作が出来ます。



☆導入事例

- ・排水処理設備：カメラによる状態監視と設備の遠隔監視と遠隔操作
- ・排水処理設備：処理水の水質データを基に薬品添加量を自動制御
- ・冷却水設備：設備稼働状況確認、水質（電気伝導率）監視、薬品使用量確認
- ・薬品タンク：薬品残量の遠隔監視による発注時期確認
- ・設備データ：各種センサーと通信設備によりデータを自動収集

* 遠隔監視・操作システムのご用命は・・・



鹿児島水処理株式会社

〒891-0115 鹿児島市東開町4番地109

☎ 099-260-1211



HPはこちら